

秋田県特別支援学校文化祭 第18回わくわく美術展審査 講評

審査員

色々美術研究所 代表 池田聖子

今回は主に色、形、質、構図の4点に気を付けて審査をしました。色とは、色の豊かさです。たくさんの色を使うだけではなく、黒一色でもその一色に見えてくる豊かさを見ました。形の捉え方では、自分の表現に必要な形の捉え方をしているかです。質は、使っている素材の生かし方です。同じ素材でもすべすべ・さがさ等、素材の質感を上手く使っているかです。構図は、4点の中でも一番重要視しました。四角い画面の中に、描く人独自の視点が表れているかどうかです。自分の視点で描かれているか、捉え方というものが表れているかを大事にしました。形や風、温度、光、香り等、作者が感動した視点が見えるものを選びました。

<絵画コンクール部門>

最優秀賞 「太陽と果物」 ゆり支援学校 高等部1年 伊藤 結依

左上から光が当たり、影ができる様子、ボールのふちの厚みに光が当たっている様子を描いている。目の前にある対象にじっくり向かい合って丁寧に描いた作品である。水彩のやわらかさ、素材をうまく使っている。モチーフと対話をしながら描いている。

最優秀賞 「先生の手と足」 栗田支援学校 高等部2年 佐藤 響

デザインとして面白い。手と足をばらばらに描いていて、何故この構図にしたのだろうと思った。彼独自の視点がある。斜めの黒い線が手で、縦と横の線が足で、整理された白と黒の場面や配置がとても面白い。

特文連会長賞 「海外へつづく道」 天王みどり学園 高等部3年 増田 瑠璃愛

たくさんの線と色がとても鮮やかに表現されている。細い線の中に黒い太い線もあり、非常にリズムのよい絵である。抽象画のようにも見えるが、ずっと見てみると何かの形に見えたりもする、見る人にいろいろなことを想像させる絵である。

美術部会長賞 「将来の夢（畜産業）」 横手支援学校 高等部1年 伊藤 亜海花

タイトルを見て納得したのは、牛の表情である。牛を一つの動物としてだけでなく、牛の番号や角の形の描き方を見て、牛が好きで一頭一頭に愛着をもって描いていると思った。牛に対する愛情が伝わってくる絵である。

優秀賞 「パプリカ」 比内支援学校 高等部1年 小出 遥俊

形の捉え方や色の並びが面白い。赤や青の上から黄色を塗ることでまぶしい光のように見える。非常に豊かな絵である。

優秀賞 「一本の木」 能代支援学校 高等部2年 藤原 瑞穂

シンプルな絵に見えるが、よく見ると幹や葉に筋が描かれていて、遠くで見ても近くで見ても味わい深い絵である。

優秀賞 「いすにすわる先生」 栗田支援学校 高等部3年 杉原 浩明

形と構図がよい。線が非常に生き生きとしている。直線的な線と曲がったところのバランスが面白い。

優秀賞 「空から見た景色」 天王みどり学園 高等部1年 菊地 孔

上から俯瞰してみたり、横から物と対峙したり、いろんな視点を思わせてくれる絵である。

優秀賞 「街くらい巨大な宇宙要塞」 ゆり支援学校 中学部2年 熊谷 拓真

大きな青い空間と宇宙要塞があり、それと比較するように左下に建物がある。大きさの対比をうまく利用した構図である。

優秀賞 「赤みがある空」 ゆり支援学校 高等部1年 土田 理久哉

一つの空の中に見えてくるうごめくいろいろな色を表現しようとしている。風景に対しての向き合い方がいい。

優秀賞 「あざやかなアヤメ」 ゆり支援学校 高等部3年 A・D

物を観察するときの熱の強さを感じた。ただ大きく描くだけでなく、アヤメの花の筋も丁寧に一つ一つ描いている。

優秀賞 「ドウダンツツジ」 大曲支援学校 高等部1年 糸井 優真

上手く点描を使って赤の鮮やかさと緑のしっとりとした落ち着きを表している。赤い光と影の緑という色の捉え方も面白い。

優秀賞 「花がいっぱい」 大曲支援学校 高等部1年 鈴木 遥

密な線と伸びやかな線、ストッパーがかかるような太く強い線で描かれている。鉛筆を使う必然性を感じ、黒色が豊かに見えた。

優秀賞 「爆買い」 横手支援学校 高等部3年 佐々木 凜

引っ搔いてけばだった紙の質が面白い。絵の中の楽しそうな感情が伝わる。直線が多いがリズムのある配置である。

2020年11月11日